

# スポーツ庁における取組

令和7年8月1日（金）  
スポーツ庁

1

アスリートのキャリア支援について

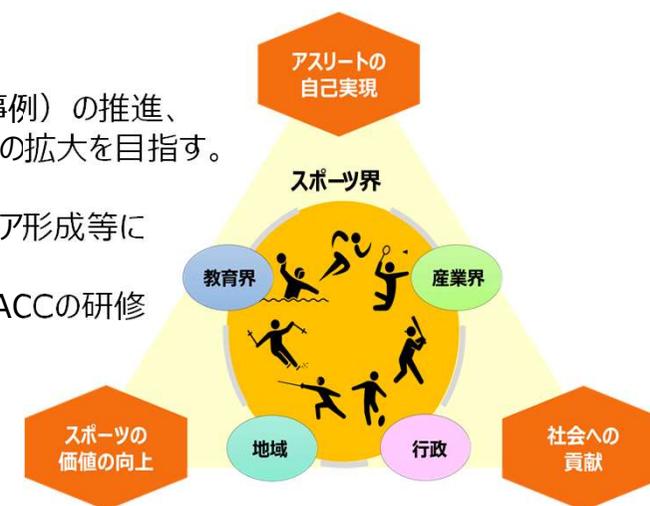
## 背景・課題

- 優秀なアスリートの能力は社会の財産であり、その能力が社会に還元されるよう、中央競技団体等は、競技力向上と並行して、アスリートのキャリア形成支援に取り組むことが求められている。
- 一方でアスリートのキャリア形成支援に積極的に取り組む中央競技団体は徐々に増加しているものの、未だ少数である。
- 各スポーツ団体、企業、チーム等によるアスリートのキャリア形成支援についての取組の好事例がスポーツ界全体に幅広く浸透しておらず、アスリートが地域や職場での運動指導、スポーツの価値を伝える活動に関わる機会も不足している。
- アスリートのキャリア形成を関係団体・企業等が連携してサポートする体制を構築するとともに、我が国のスポーツ人材等の育成、活用等に係る課題の解決に向けた戦略を検討する。

## 事業内容

### (1) スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営

- ・スポーツ関係団体と民間企業等とが共に参画する「スポーツキャリアサポートコンソーシアム」を運営。
- ・加盟団体同士の連携・協働を通じたプロジェクト（キャリア教育研修や教育素材の作成：R5年度計15事例）の推進、カンファレンス等の機運醸成の取組を通じアスリートのキャリア形成支援に積極的に取り組む団体・企業等の拡大を目指す。（R5年度実績112団体⇒R6年度目標150団体⇒R7年度目標170団体）。
- ・現役アスリートが所属するクラブチーム・競技団体・企業・学校等において、アスリートに対してデュアルキャリア形成等に関するアドバイス・情報提供を行う「アスリートキャリアコーディネーター（ACC）」を育成する。
- ・アスリート、指導者等が利用可能な相談窓口の機能強化や、資格取得後に具体的活動に至っていないACCの研修および現場への投入の仕組みづくり等、アスリートのキャリア形成の支援体制を強化する。
  - 委託先：スポーツ関連産業に実績のある民間企業等（委託事業）
  - 件数：1箇所 35,000千円



### (2) アスリート・スポーツ人材の効果的な活用の在り方に関する調査事業

- ・アスリートのキャリア形成にかかる課題抽出、キャリア教育に欠かせないアスリート特有のライフスキルの可視化、またアスリートに限らずスポーツ指導者やボランティア等、スポーツ人材の活動状況の明確化等、政策に活かすための国内外の事例等を幅広く対象とした調査事業を行う。
  - 委託先：スポーツ関連産業のコンサル等実績のある民間企業等（委託事業）
  - 件数：1箇所 7,942千円×1件

アスリートやスポーツ人材が一層活躍する社会へ

#### アウトプット(活動目標)

- アスリートのキャリア形成支援の体制強化
- スポーツ人材の育成・社会状況の実態把握

#### アウトカム(成果目標)

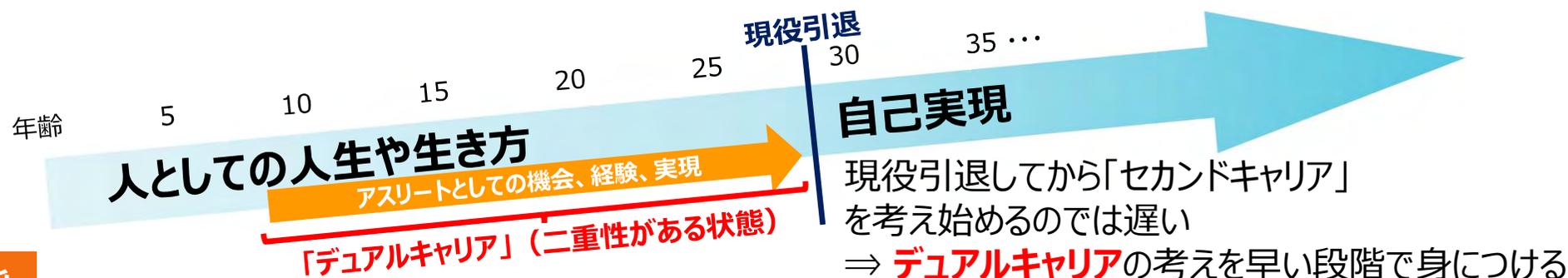
- 効果的なキャリア形成支援による定量的実績形成
- スポーツ人材の効果的な育成、活用

#### インパクト(国民・社会への影響)

- アスリートが持つ価値を社会に還元することによるスポーツの価値の向上
- スポーツ人材の効果的な活用によるスポーツ活動の持続可能性の確保

## 役割

- ▶ 「**アスリートとしてのキャリア**」と「**人としてのキャリア**」の二つのキャリアの両立を支え、アスリート自らの可能性を最大限に発揮するための環境を創出し、アスリートの持つ価値を社会に広く還元する
- ▶ 国、関係団体、関係企業等が一体となってアスリートのキャリア形成を支援する体制を整備し、その適切な運営を確保すると共にアスリートのキャリア形成を実際に支援するコーディネーターを育成する



## 機能

- ① **マネジメント機能**
  - ▶ アスリートのキャリア支援の諸活動を統括 (全体マネジメント)
  - ▶ 各機関が行う支援の方向性統一を目指す
- ② **人材育成機能**
  - ▶ ACC (アスリートキャリアコーディネーター) の養成  
=> アスリート活動拠点への配置を目指す
  - ▶ ACCの能力の維持・向上
- ③ **ネットワーク機能**
  - ▶ コンソーシアムの構築・運営  
(NF等スポーツ団体、民間企業、大学、総合型クラブ等)
  - ▶ ネットワークの活用 (好事例等の収集と共有など)
- ④ **広報機能**
  - ▶ 機運醸成の為の広報活動
  - ▶ ロールモデル収集・キャリア研修事例収集及び映像化
- ⑤ **能力開発支援機能**
  - ▶ プログラム開発と実践 (出張研修等)
  - ▶ アスリートや指導者等への「デュアルキャリア」意識啓発
- ⑥ **キャリア相談機能**
  - ▶ 相談窓口機能

# 令和6年度 Athlete Career Challenge カンファレンス

スポーツ庁委託事業「令和6年度スポーツキャリアサポート支援事業」

ゲストファシリテーター  
公益財団法人日本体操協会  
強化本部長  
村上 茉愛 氏

ゲストファシリテーター  
JOCアスリート委員会  
委員長  
松田 丈志 氏

## Athlete Career Challenge カンファレンス 2025

### 競技の枠を超えアスリートと 共に考えるアスリートの未来

— アスリートキャリアビジョンワークショップ —

第一部 | PROGRAM 01 アスリートのキャリア課題とは何なのか

一般社団法人日本プロサッカー選手会  
マネージャー  
小林 慎一朗 氏

公益財団法人日本陸上競技連盟  
専務理事  
田崎 博道 氏

第一部 | PROGRAM 02 アスリートと考えるキャリアビジョンワークショップ

ファシリテーター  
川島事務所代表/  
GCDF-Japanキャリアカウンセラー  
川島 隆一 氏

有限会社レックススポーツ  
代表取締役  
岡崎 美穂 氏

参加アスリートによるグループディスカッションをおこないます  
(ライブ配信(ZOOM)でご参加の方はZOOM上でグループディスカッションをおこないます)

2025年 **2月26日(水)**

開催場所 東京ミッドタウン八重洲 4階大会議室  
東京都中央区八重洲二丁目2番1号

**参加費無料** リアル・オンラインでの開催になります

【第一部】17:00～20:00 【第二部】20:00～21:30

▶お申込みについては裏面をご覧ください。

主催 |  スポーツ庁  SPORT CAREER SUPPORT

協力 | 公益財団法人日本オリンピック委員会  
公益財団法人日本パラスポーツ協会・日本パラリンピック委員会  
公益財団法人日本スポーツ協会

第一部 | PROGRAM 03 アスリート人材に期待するチカラ

ソニー生命保険株式会社  
  
品川LPC第4支社第1営業所  
営業所長  
中村 仁 氏

イオンモール株式会社  
  
人事統括部 採用・育成部  
部長  
岡本 卓世 氏

株式会社リクルート  
  
HRエージェントDivision  
Vice President  
近藤 裕 氏

第二部 | 交流セッション ※ライブ配信での開催(ZOOM)でも実施いたします

タイムスケジュール 【第一部】17:00～20:00 【第二部】20:00～21:30

17:00 ● 開会挨拶  
17:05 ● スポーツ庁事業説明  
17:10 ● 第一部 | PROGRAM 01 アスリートのキャリア課題とは何なのか  
18:00 ● 第一部 | PROGRAM 02 アスリートと考えるキャリアビジョンワークショップ  
19:10 ● 第一部 | PROGRAM 03 アスリート人材に期待するチカラ  
※YouTube配信は20:00で終了となります  
20:00 ● 第二部 | 交流セッション  
21:30 ● 閉会

お申込みはコチラ

下記サイトまたは二次元バーコードよりお申込みください。  
※実施概要をお読みのうえ、お申込みフォームへお進みください  
【サイトURL】 <https://sportcareer.mext.go.jp/2135/>

申込締切 【リアル(会場)参加の場合】2月16日(日)  
【オンライン参加の場合】2月23日(日)

スポーツキャリアサポートコンソーシアムとは

 スポーツキャリアサポートコンソーシアム 事務局長  
高橋 義雄 氏

 スポーツ庁 副官  
荒井 広治 氏

アスリートが安心してスポーツに取り組むことができるキャリア形成の環境を整備するため、スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート推進事業」の一環として「スポーツキャリアサポートコンソーシアム」が2017年2月に創設されました。本コンソーシアムはスポーツ界、教育界、経済界などが連携して、アスリートのキャリア課題について、検討、解決案を提案するため会員が保有する資源や情報を共有しながら、連携・協働・支援を促進することを目指しています。  
現在、産学官連携組織として126団体が加盟しています(2024年12月現在)。

SPORT CAREER SUPPORT CONSORTIUM

スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局  
E-mail: [sportcareer@futuredesignlab.jp](mailto:sportcareer@futuredesignlab.jp) / TEL:03-6222-9855  
当事務局の運営は、スポーツ庁令和6年度「スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営」事業です。

主催:スポーツキャリアサポートコンソーシアム 受託事業者:株式会社フューチャー・デザイン・ラボ 運営:株式会社MPandC

2

スポーツ・健康まちづくりの推進

各地域が抱える課題を ※少子高齢化・地域活力の低下・コロナ禍で停滞した地域経済など

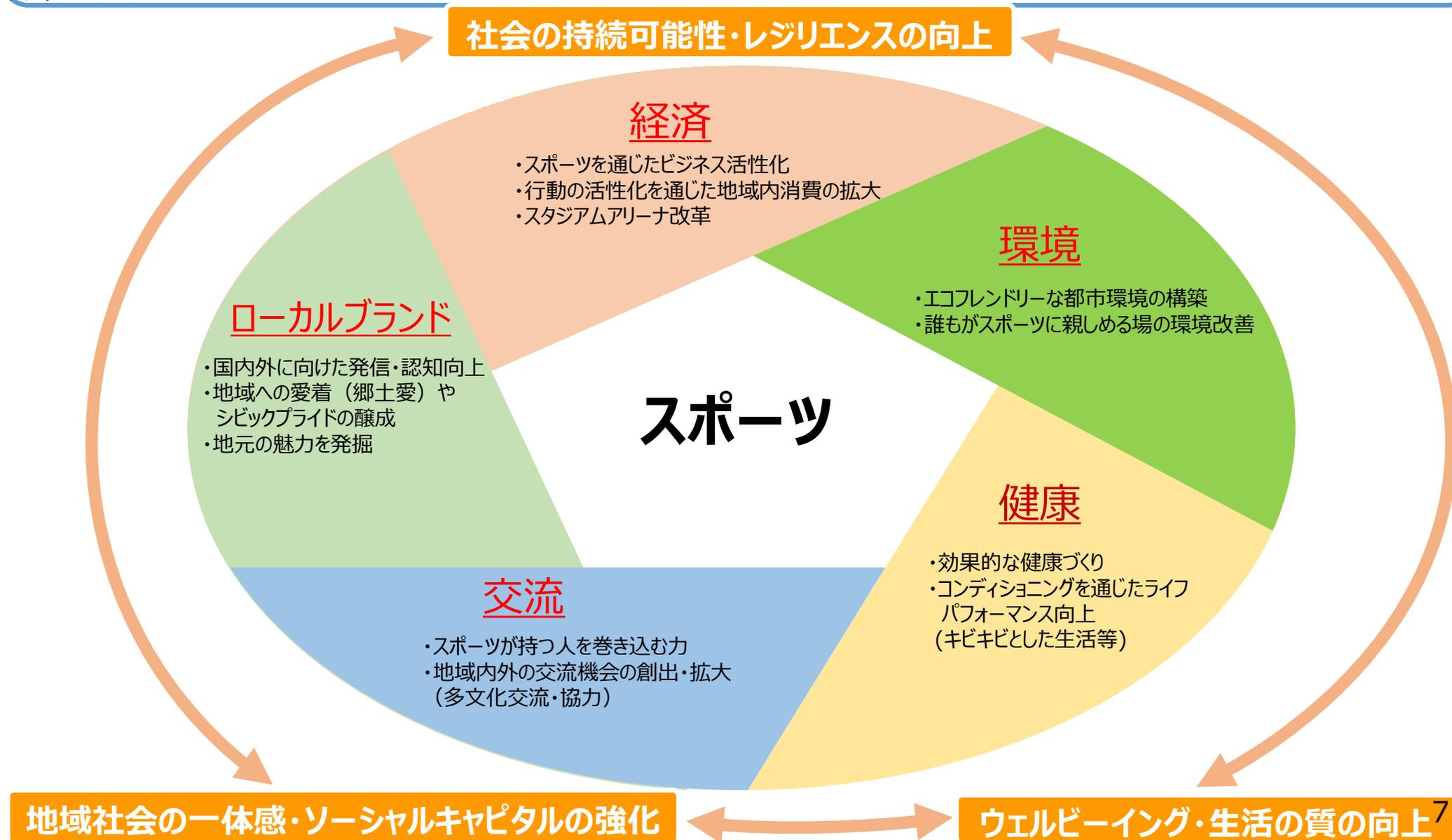


スポーツが地域にもたらす価値を通して

スポーツによる「地方創生・まちづくり」

# スポーツによる地域振興の価値

スポーツによる地域振興は、地域が抱える過疎化・経済の停滞等の各種課題に対し、スポーツがもたらす5つの価値（経済、環境、健康、交流、ローカルブランド）を通じて、「ウェルビーイング・生活の質の向上」「地域社会の一体感・ソーシャルキャピタルの強化」「社会の持続可能性・レジリエンスの向上」などを達成することが期待される。



# 「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰制度 (通称：スポまち！表彰)



東京 2020 大会のレガシーとして、全国を先導する「スポーツ・健康まちづくり」に、**今後取り組もうとしている**自治体のアイデアを表彰するとともに、自治体のアイデアを積極的に広く全国へアピールし、スポーツを活用した特色あるまちづくりの全国展開を推進。

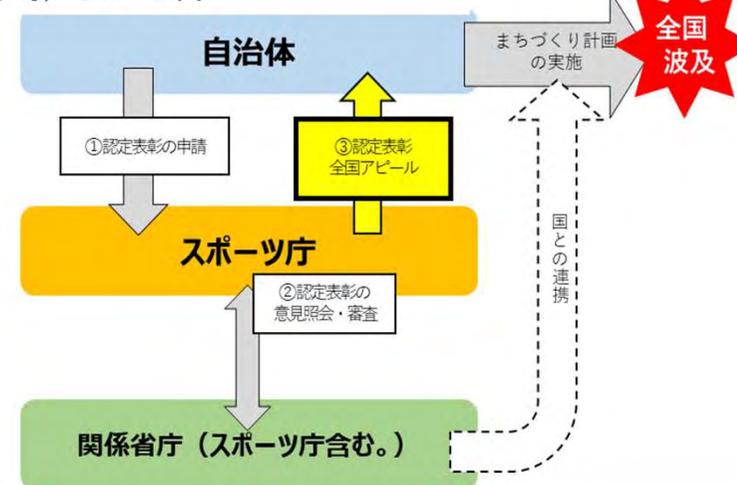
**「スポーツを活用した「まちづくり」に取り組もうとしており、持続的な取組が確保できる体制が整っている自治体」のアイデアを表彰します！**



「スポーツ・健康まちづくり」計画に取り組む自治体を表彰

「我がまち」の取組をスポーツ庁が全力でPR！！

(参考) イメージ図



# 「スポまち！表彰2024」を実施しました



スポーツや運動を通じて、他の分野における地域課題の解決、多様性を尊重する社会づくりや地域経済の活性化等を図っていく「スポーツ・健康まちづくり」の取組計画を審査し、結果、20の優良自治体を表彰しました。4回目となる今年度は、表彰自治体の中から特色ある取組計画の自治体に対し特別賞を授与することとし、長官特別賞は高知県、ゲスト特別賞は沖縄県石垣市を表彰しました。

<募集期間> 令和6年9月11日(水)～11月7日(木)

<表彰式典>

日時：令和7年1月23日(木)13:00～16:05

会場：三田共用会議所

出席者：スポーツ庁長官 室伏 広治

スポーツ庁審議官 橋場 健

受賞自治体

特別ゲスト：増田 明美 氏(スポーツジャーナリスト 大阪芸術大学教授)

基調講演：安永 淳一 氏

(沖縄バスケットボール株式会社取締役兼ゼネラルマネージャー)



プログラム	内容
オープニング	主催者代表挨拶 スポーツ庁長官 室伏 広治
優良自治体表彰	18自治体
ゲスト特別賞	沖縄県石垣市
長官特別賞	高知県
フォトセッション	スポーツ庁長官、スポーツ庁審議官、増田明美様、安永淳一氏、受賞自治体登壇者によるフォトセッション
ぶら下がり取材	スポーツ庁長官、増田明美氏によるぶら下がり取材
基調講演	沖縄をもっと元気に！琉球ゴールデンキングスの取り組む地域活性化について 沖縄バスケットボール株式会社取締役兼ゼネラルマネージャー 安永 淳一 氏
スポーツ庁・観光庁 からのご案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ庁健康スポーツ課</li> <li>・スポーツ庁健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室</li> <li>・観光庁 観光地域振興部 観光資源課 文化・資源活用推進室</li> <li>・観光庁 観光地域振興部 観光資源課 新コンテンツ開発推進室</li> </ul>

# 「スポまち！表彰」 これまでの受賞自治体



延べ96自治体を表彰しました

- 2021受賞
- 2022受賞
- 2023受賞
- 2024受賞



# つの職育プロジェクト ～スポーツ選手による町の課題解決～

## <目標分野> ※該当するものに全て印

- スポーツを活用した経済・社会の活性化
- スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

## <目標内容>

「スポーツ」「生活」「教育」「仕事」を通して、少年期から青年期までの若者を地域企業・農家・行政など、**地域ぐるみで育てる取り組み（職育）**を行う。

## <PRポイント>

- 【サッカーチームによる町の課題解決】  
地域おこし協力隊制度を活用して、現役サッカー選手が地域課題解決に躍動！！
- 【アカデミー教育をまち全体でサポート】  
寮生活と地域での仕事を通して、「よき社会人」の育成に寄与！！



## <継続的な取組を確保できる体制（図）>



## <概要> 計画期間：令和元年8月7日～令和7年3月（中間目標）

### <現状・課題>

- 町内唯一の高校が廃校となり、ますます若者が流出。
- 農業・漁業・商工業などの産業分野の担い手が不足。

### <総合的な取組内容>

課題をまとめてスポーツ選手が解決！

**【課題1】**  
町内の若者がいない！

**【課題2】**  
人口減少により空き家増！

**【課題3】**  
若い働き手が不足！

**地域による人材育成**

- ・ツノスポーツアカデミー運営
- ・地域の事業者と連携して職業体験

**移住定住促進**

- ・SNSや広報誌での情報発信
- ・空き家対策、活動拠点整備

**農業担い手サポート**

- ・農家と働き手のマッチング
- ・農家サポート(繁忙期の支援など)

これからの都農町！

**スポーツを通して仲間と高校生活！若者増！**

**移住者が増え町内も活性化！**

**スポーツ選手のセカンドキャリア育成に！**

【フォローアップ欄】 令和5年度以降における計画の進捗状況

### 各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：  
都農町 教育委員会 社会教育課 保健体育係
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：  
第2期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：ツノスポーツコミッション
- 協カスポーツチーム：  
ヴェロスクロノス都農（株式会社J.FC宮崎所属）

### 【問合せ先・電話番号】

宮崎県都農町まちづくり課まちづくり係  
0983-25-5711

# 『アルバイト×合宿×スポーツDX = 無限大∞』

スポまち！表彰2024

～ スポーツ合宿を通じた産業を支える働き手の確保・地域交流を通じた関係人口の拡大【石垣島を第二の故郷に】～

石垣市

＜目標＞ 計画期間：～令和7年3月31日

- 本市の若いアルバイトの働き手不足という地域課題を解決するために合宿で来島した学生に**アルバイトと合宿の両立が可能な点をPRし合宿誘致**を行い、アルバイトの働き手不足解消と来島する競技者にとっては活動資金確保等の活動支援を目標とする。
- 合宿の様子をスポーツDXを活用し映像化することで、映像を活用した練習や保護者の見守り等スポーツ環境の充実を通じ**スポーツ合宿地としてのブランディングを強化**する。

## ＜PRポイント＞

- 石垣島スポーツコミッションを中心とした幅広い官民連携組織  
⇒ 自治体と8団体で構成しており官民が多方面で協力できる。



サッカーパークあかんま

- 充実したスポーツ資源、観光資源

⇒ 市民の方々からプロチームまで利用可能なスポーツ施設。スポーツDXを活用した環境整備。



AIカメラを活用したスポーツDX

## ＜現状・課題＞

- 本市では高等教育機関が無いことから、20歳前後のアルバイトとしての働き手が極端に少なく、**各産業においてアルバイトの働き手の確保に大変苦慮**している。
- また、多くの高校、大学をはじめスポーツチームが合宿やキャンプを受け入れているが、近年、**渡航費用や宿泊費の高騰**で合宿地として検討しているチーム・団体の懸念材料となっており、**支援策の検討**が課題。

## ＜総合的な取組内容＞

- 合宿・キャンプで来島する**高校・大学のスポーツチーム・サークル等をターゲットに『アルバイト×合宿』の新たな合宿誘致を行う**。具体的には**午前はアルバイト、午後は練習**というようなアルバイトと合宿を両立できる合宿メニューを新たに提供する。両立可能な合宿メニューとなるよう、石垣島スポーツコミッションが中心となり官民連携し、受入態勢を構築する。
- また映像を活用した指導や保護者の見守りが可能な**充実したスポーツ環境をスポーツDXの活用により提供することで魅力ある合宿メニューを下支え**する。



- これによりアルバイトの働き手不足という地域課題解決に繋がる。
- 更に競技者は合宿費の軽減や今後の活動費確保にも繋げる。



- 将来的には本取組を通して、石垣島での仕事や生活を体験により、**第二の故郷と感じてもらい、移住や定住を図り若い世代による人口増加、地域活性化を目指す**。

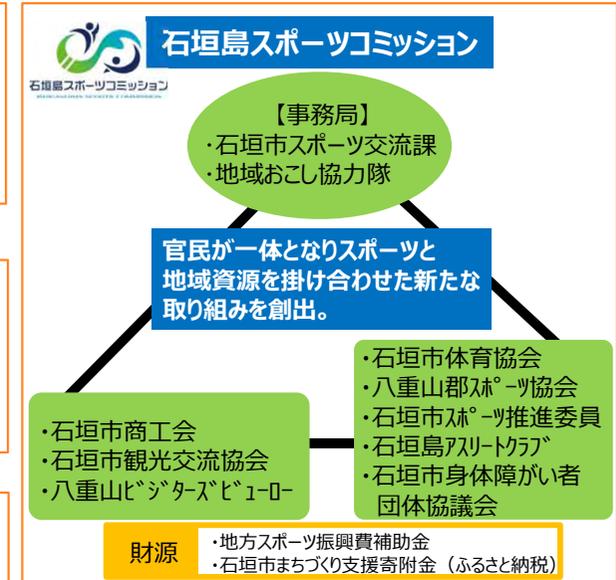


アルバイト受入れ先例：農家

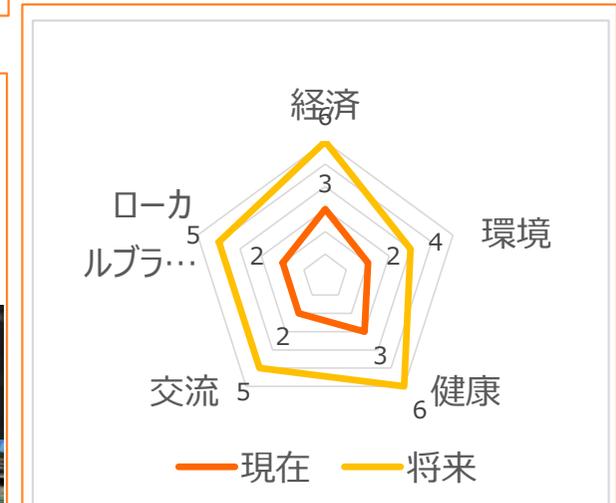


スポーツDXで環境充実 試合や練習を映像化

## ＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



## ＜セルフチェックシート＞



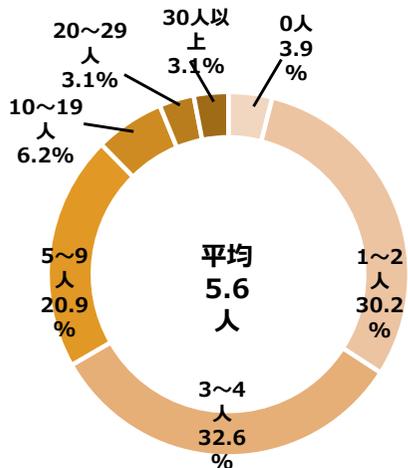
問合せ先・電話番号

石垣市企画部スポーツ交流課  
TEL:0980-88-6666

【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

## 現状・課題

- 地域SCの事業展開は、スポーツ合宿や大会等の「誘致・実施」を行っている団体が半数以上ある。
- 一方で、その他の取組に拡大して事業展開を出来ておらず、スポーツによるまちづくりを推進していく上では地域SCの多角的な事業展開が必要である。
- 地域SCの職員数は約6割が4人以下となっており、継続的な運営体制の構築に向けて担い手の確保・育成が必要となっている。



「地域スポーツコミッションの組織体制及び活動概況に関する調査」より担当職員数（令和3年度）

## 事業内容

スポーツ大会や合宿の誘致・開催等のスポーツによる「まちづくり」を推進していくため、その担い手となる地域スポーツコミッション（地域SC）の質的な向上（経営の安定や運営を担う人材の育成・確保等）に向け、**①新たな事業展開へのチャレンジ等をモデル的に支援**するとともに、**②研修講座の実施等の人材育成サポートや人材確保に向けたマッチングの実証**を行い、**自立・自走化した地域SCの増加**を目指す。

事業実施期間 平成27年～

### 地域SC経営多角化支援事業 0.7億円

● 地域SCの多角的な事業展開へのチャレンジを支援する。

① 交流人口拡大に資する事業（アウトター事業）

例）スポーツツーリズム、プロスポーツチームとの連携 等

② 地域住民向けの事業（インナー事業）

例）地域住民の健康づくり、競技者の育成 等

※地域SCのさらなる自立・自走化を実現するべく、過年度採択実績のない自治体を優先的に支援する。

### 地域SC担い手育成等サポート事業 0.6億円

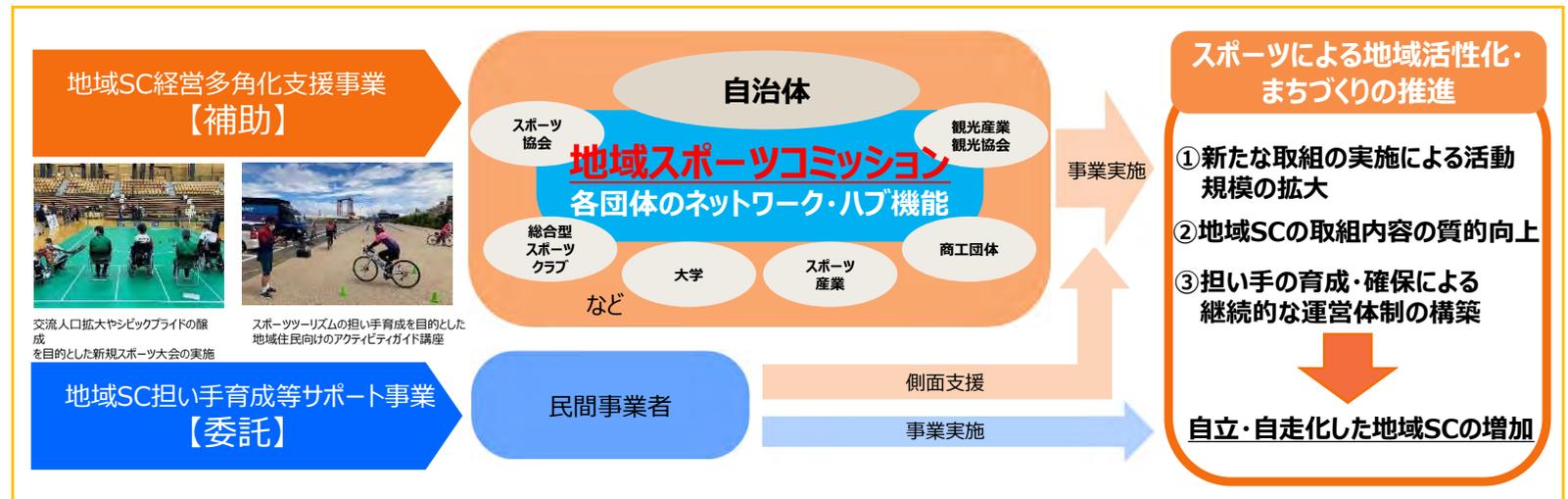
● 研修講座等の人材育成サポートの対象者を拡大

① 地域SC初任者や設立検討団体担当者

② 地域SC運営に係るノウハウの取得に向けた支援

● 地域SCの実状に合わせて、人材確保に向けた**マッチング**をモデル的に実証する。

例）○地域おこし協力隊マッチング支援  
○副業・兼業人材マッチング支援  
○大学生インターンシッププログラム



# スポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ 創出等総合推進事業

令和7年度予算額  
(前年度予算額)

167,079千円  
178,800千円



## 事業概要

地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむスポーツツーリズムについて、増加傾向にある訪日旅行客を主なターゲットとし、引き続き、ニーズに沿った効果的な取組事例の創出、DXを活用したプロモーション等によるスポーツツーリズム・ムーブメントの創出を進める。これにより、武道を含めたスポーツツーリズムの認知拡大による地方誘客につなげながら、訪日旅行客等のニーズの変化を的確に見極め、地域スポーツ資源を活用した国内外から選ばれるコンテンツの戦略的な創出を図る。

## 事業内容

事業実施期間 平成29年度～

### ① スポーツツーリズム・武道等コンテンツ創出事業

0.4億円

○ 武道をはじめとする地域スポーツ資源を活用したコンテンツの創出をモデル的に支援し、地方部での長期滞在※への貢献等の効果検証等を行う。

※ライブパフォーマンス、検定・資格取得 等

#### 1. 武道ツーリズム

日本発祥の武道と日本特有の資源（ヘリテイジ）等を融合させた稀少性の高い体験コンテンツを創出



#### 2. その他（スノースポーツ・登山・ニュースポーツ等）

日本固有の資源の活用やニーズを掘り起こす、新たな種目を活用したコンテンツを創出



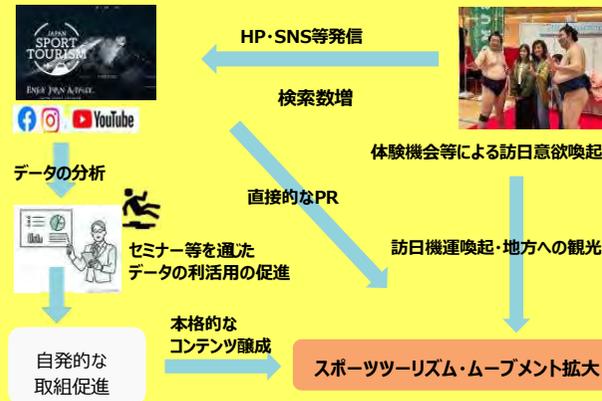
### ② スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業（拡充）

1.1億円

○ ホームページ等を通じたプロモーションや、セミナー等を通じた各地域での自発的なプロモーション活動を促進する。

○ 武道を中心とした体験機会を国内外で創出し、日本ならではのスポーツツーリズムの認知拡大、地方誘客を促進する。

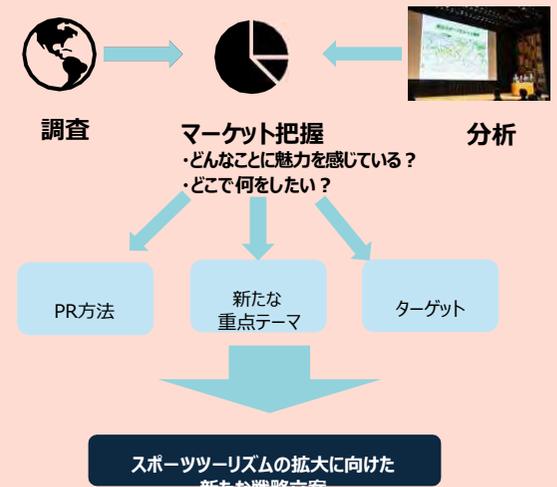
○ 武道コンテンツ体験時の安全確保手法等の検討など、新規事業者参入に必要な環境整備に取り組む。



### ③ スポーツツーリズム・マーケット調査事業（新規）

0.1億円

○ 今後のスポーツツーリズムの展開に効果的な「目的」「テーマ」「コンテンツ」等のあり方について、有効性の高い最新データを収集し、訪日旅行客等のニーズを把握・分析する。



スポーツによる地方創生・まちづくりへ

担当：スポーツ庁参事官（地域振興担当）付

## 武道ツーリズムの取組事例

### 合気道と熊野古道体験ツアー

#### コンテンツ制作の背景（R4モデル事業）

合気道の開祖植芝盛平の生誕の地であるが、愛好家以外の方に知られていなかった。  
合気道を嗜むフランス人ガイドの仲間をアドバイザー置くことで、田辺市で武道ツーリズム化できると考えスタート。

#### ○主なターゲット

富裕層インバウンド

#### ○参加人数

1～5人

#### ○料金

398,000円/2名

#### ○実績

スペイン、アメリカ、日本

国内外からのメディア取材等

#### ○その他

合気道体験時通訳有

熊野古道のガイド有

#### ツアー内容（2泊3日の場合）

##### ○1日目

合気道体験@田辺市立武道館（3h）

↓

田辺市内で宿泊

##### ○2日目

熊野古道or農業体験（2.5h）

↓

昼食

↓

熊野古道（1.5h）

##### ○3日目

熊野古道

#### ○ポイント

- ①「合気道×熊野古道の親和性に触れる」
- ②演舞鑑賞(自分のためだけに)
- ③レベルに合わせた体験設計
- ④植芝盛平の弟子である五味田聖氏息子の五味田潤一氏からの指導
- ⑤合気道に精通する多言語対応可能なガイドの派遣



植芝盛平ゆかりある師範



熊野古道



郷土料理



農業体験



湯の峰温泉